

六郷わがまち

発行 地域力推進六郷地区委員会
 編集 「六郷わがまち」編集委員会
 事務局 大田区六郷特別出張所
 〒144-0055
 大田区仲六郷2-4 2-2
 電話 03(3732)4885(代)
 FAX 03(3735)6249

六郷特別出張所管内	
人口	男 33,007名
	女 31,142名
	計 64,149名
世帯数	31,115世帯
平成22年2月1日現在	

50号記念 町会・自治会長大いに語る

不確かな時代の地域社会は？
 地域の抱えている課題・抱負、
 本情報誌への期待など、貴重な
 ご意見を頂きました。



南六郷一丁目町会
 会長 田村 等
 町会活動

マンションが増え、個人情報
 問題として、名簿その他に名前
 を掲載しない等個人の孤立化が
 進んで来ている昨今です。

国内外の地震、津波その他の
 災害で大勢の人達が避難生活を
 強いられ苦労しています。この
 ような状況の時ほど他人の温か
 さを感じるに違いありません。

近隣の人達、仲間がいち早く
 救出活動に駆けつけるでしょう。

昨年「町会だより」を発行し
 コミュニケーションに役立てて
 しております。またバザーを開催
 し、大勢の人達が集まり喜ばれ
 ました。

地域の行事に協力したい、参
 加したいと思っている人達も大
 勢いると聞きますので、皆が参
 加しやすい場を設けて地域友好
 活動を進め、楽しい町会にして
 いくこうと考えております。



南六郷二丁目町会
 会長 柳原 恒雄
 町会役員の
 定年制を考える

当町会では平成15年の理事
 会で定年制の提案があり、5年
 をかけ議論を積み重ねてきまし
 ました。

議論の内容は、定年制があれ
 ば、その時点で退任できる。町
 会の活動であるから、大勢の皆
 さんが交替で参加して、活性化
 してほしい。また、75歳でもお
 元気な方もおいでになる。いろ
 いろな意見がありました。

平成20年4月の総会において
 規約の一部を改正しました。

理事会役員・会計監査の定年は
 満75歳とする。但し任期途中で
 の退任を避けるため、改選総会
 時に満74歳未満の者を選出す
 る。平成22年の総会は2回目の
 定年制が実行されますが、役員
 の最高年齢は73歳になります。

当町会では特に問題もなく改
 正してよかったですと考えています。

“六郷わがまち”は「地域を問
 い直す文化情報誌」として平成
 4年11月に創刊し、年3回を目
 安に発行しています。



南六郷二丁目団地自治会
 会長 内海 禮子
 高齢者対策を
 トータル的に

10年位前より、現実となった
 高齢化時代にマッチする活動を
 しなければと計画を立てていま
 した。他自治体に見学に行き、
 学習する等いたしました。途中、
 紆余曲折を経て、3年前助け合
 いグループ「ひまわりの会」を
 立ち上げ、ボランティアにより
 利用者日常生活で困っている
 作業をお手伝いして喜ばれてい
 ます。声かけやお手紙を書く「こ
 縁ネット」も包括支援センタ―
 と提携し順調に進めています。

昨年11月、事前にアンケート
 をとり、また食事会をする等し
 て皆様の意見を聞き、希望の多
 かった喫茶室(サロン)を開き好
 評を戴いています。少しでも喜
 びの日々を過ごせるようお手伝
 いをし、次のステップへ進んで
 参ります。

多摩川河川敷に隣接した南三
 堤公園を新たな拠点として活動
 しています。ふれあいパーク活
 動で清掃と管理を通じてふれあ
 いの場となっています。かつて
 戦後の復興に貢献してきた工場
 の跡地に高層マンションが林立
 し、工場の町から大きく変化し
 ました。社会構造の大きな変化
 により地域の繋がりが希薄化す
 る中であって新たなマンション
 の住民と如何に手を繋いで行く
 かが当面の課題であります。



南六郷三丁目町会
 会長 吉野 鷹夫
 みんなで支えあ
 う明るい町会へ

当町会では、『みんな支えあ
 う明るい町会』を目指して色
 々な活動をしています。祭礼、納
 涼大会、防災訓練等を通じて、
 ふれあいと連携が深まり、誰も
 が孤立することなく安心して暮
 らせるよう顔の見える支え合い
 のネットワークが出来ることがを
 期待しています。

東六郷一丁目町会
 会長 中島 寿美
 協働
 町会の連携と



東六郷一丁目町会
 会長 中島 寿美
 協働
 町会の連携と

町会は戦後の混乱期から現在
 迄行政や関係機関など様々な公
 的役割の役割を果たしてきました。
 早60年の歴史を迎えようと
 しています。そして現在の少子
 高齢化社会、将来の人口減少社
 会への対応と、地域社会は新し
 い社会構造を生み出すことが求
 められています。このような状
 況を考えると、区と区民活動が連
 携し協働することが必須です。

後世に向かって着々とその体
 制を整える必要性を感じていま
 す。これを踏まえて六郷地区15
 町会はこの組織と様々な事業に
 取り組んでいます。その事例は
 ①子供見守り活動、②公園自主
 管理活動、③災害弱者支援活動、
 ④福祉施設の奉仕活動、⑤町内
 清掃と放置自転車取り締まり活
 動等があります。協働相手には
 区、警察署、消防署、学校、父
 兄、生徒、青少年対、翔裕園、企業
 が上げられます。町内の活性化や
 地域向上に努力しています。



東六郷二丁目町会
 会長 田中 良治
 まずは災害への
 備え

昨年5月から第17代目会長に
 就任し、皆さんの協力を得て2
 年目を迎えることになりました。
 今後も歴代会長の良き伝統を守
 ると共に、二つのテーマに一層
 の力を注いで取り組みたいと思
 えます。

ひとつは、いつ起きてもおか
 しくない大災害に住民一体とな
 って備えることです。とくに30
 年以内に大地震が70%の確率で
 この地方で発生すると考えられ
 ており、一般住宅の多い当町内
 では家屋倒壊や火災の危険も大
 きい。日頃から近隣との絆を深
 め、助け合って行動できるように
 願っています。

次は、町会への加入会員を増
 やすことです。現在の加入率は
 43%で、会員数は608世帯と
 少ないため、加入促進の案内手
 ラシの全世帯配布を機に増加を
 図り、活気ある町にしたいと思
 います。



東六郷三丁目町会
会長 鳥本 剛
みんなで参加
楽しみのある町会

町内には六郷小学校があり、学校行事へ参加しています。宮本町会との合同避難所運営協議会の会場にも利用させて貰っています。

町会行事の主な会場は、東六郷児童公園で、餅つき大会、交通安全運動、祭礼、盆踊り、ラジオ体操を行っています。また市民消防隊の訓練場所に使用しています。

集合住宅、一戸建て住宅が増え、人口も増加していますので各行事に対策を立てています。役員も高齢化し、各行事は老人会の協力によるものが多くな

つてまいりましたが、皆さん楽しんで協力くださっています。今後の町会の目標は、子ども見守り、防災防火防犯パトロールの強化、高齢者の老人会参加への呼びかけです。そして一人でも多くの人が健康を保ち、楽しめる行事を催していきたいと思っています。



会長 木内 武雄
協働の町づくり
を目指して

町会は区と連携を踏まえつつ、出来るだけ住民主導で社会変化に迅速に対応できるような理想を企図しています。

◆少子高齢化社会への対応

①学校参加と子供見守り

②平常時一人暮らしの高齢者支援・災害時要援護者と救済者

◆防災防火と犯罪抑止

①学校避難所・消防隊訓練

②定期的な夜間パトロール

③交通安全や清掃奉仕活動

◆地域住民との触れ合い

祭礼・納涼大会・餅つき大会などを通じて交流を図り、リサイクルの基金も当てています。

◆会員の若返り
町会各班の見直し、会員の若返り策、ボランティアの募集。

仲六郷二丁目町会
会長 早川 和広
住みよい町づくり
をめざして



わが町「仲一町会」は会員数1865世帯、加入率約67%の町会ですの内1140を超える

世帯の方々が集合住宅に居住されています。

以前より戸建住宅に住む方と集合住宅に住む方との意見の交換、交流を深めていく事の難しさが問題としてあります。

また、少子高齢化の中、益々多くなるであろう高齢者の一人住まい・高齢者世帯の把握と支援問題はすぐにでも取り組んでいかなければならない課題です。

当町会の強みは年度計画に基づき行われる全ての行事に「仲若青年会」の若者たちが積極的に参加協力してくれることです。

今後この若い力を助けに様々な課題を乗り越え、「会員、全員参加の町づくり」を目指していきたいと思えます。

仲六郷二丁目町会



会長 瀬田 哲夫
向う三軒
両隣と絆

町会では住民との絆を大切に

する各種事業を行っています。昨今はとかく個人主義がもてはやされ、連帯感が稀薄な時代です。しかし、いつ災害が起こってくるかわかりません。日頃か

らご近所が仲良くしてお互いに助け合えば被害を最小限にし、また身の安全を図る事ができます。日頃の家族の絆、ご近所との絆が家族近隣の人々を守る基本です。災害時に助け合う事が出来る様に、常に絆を深めるようお願いします。

当町会は区内有数の商店街を有し、特に住民及びお客様サービスには現理事長始め、役員各位が努力され、各種催しを行い地域住民の皆様喜んでいただいております。町会は住民の福祉の向上と安心安全な住み良い町づくりのため今後とも活動してまいります。

仲六郷三丁目町会



会長 岩崎 勝
今後の課題

当町会の組織は10部で構成

し、各部長の下で運営していますが、今後の課題として各部の充実があげられます。一人暮らしの高齢者対策、子供見守り対策、いつ起きてもおかしくないといわれている震災への対策

など課題は多々ありますが、第一に各部を挙げて『防災』に取り

組んでいきたいと考えております。行政からの援助は早くても3日後といわれています。町会としての力は限度があり、自分の身は自分で守っていただくのが原則ですが、子供を含めた弱者への援護対策に更なる肉付けを加え、町会としての

タンスを何処まで広げられるか、他町会の対策も参考にし、仲三町会としての方向性を明確に打ち出していききたいと思っております。

仲六郷四丁目町会



会長 岡田 平
「仲四町会」の
初夢

正月に4つの初夢を見ました。

一、安心して住める町会

夜は明るい街灯がついていて子供さんやご婦人が安心して歩ける犯罪のない町になりました。

一、火災のない町会

全家庭に消火器と火災警報器が備えられ、町民お互いに火災予防について注意しあう町になりました。

一、老人を守る町会

町内全部「一人暮らし老人」の名簿が揃っていて、地域ごと近所の人々が朝夕その家に挨拶にまわって、安全を確認し合

い、また通信連絡、救急体制が確立した町になりました。

一、たえず子供を見守る町会

P.T.Aと協力して町内あげて子供を守る町になりました。

町会として、4つの初夢が正夢となるよう祈っています。

西六郷一丁目町会



会長 阿部 民有
六郷わがまち
50号発行に寄せて

六郷わがまち50号発行、誠に

おめでとうございます。創刊以来毎年3回発行されて実に19年の長期に及ぶ活動を経て、ようやく50号の発行を迎えることが出来たものです。編集に携わってこられた皆さんの労苦が偲ばれます。テーマの選定、原稿の

依頼、編集、校正等を経て初めて発行されるもので、他方、原稿を依頼された人も大方の人が、文筆を仕事としている訳でもないのに、苦勞もあつたこと

と思います。第1号から第49号に綴られている内容は、わがまち六郷を愛

し、誇りを抱き、わが郷土を良くしたいという熱意に溢れたもので大変感動しています。

創刊以来、発行に携わってこられた全ての方々に感謝申し上げます。

西六郷二丁目町会



会長 石渡 繁
文化活動と
高齢化社会

創刊50号おめでとうございます。当町会の文化活動、絵画教室ではアクリル画を楽しみ、「彩画展」で成果発表しています。舞踊教室は日本舞踊のお稽古を毎週月曜日に行っています。

みどりの会は寄せ植、流木盆景など、緑を楽しんでいます。菊友会は大菊三本立て等の育成を行い、秋に展示発表会をしています。

この文化催事を通じて地域の方々との「ふれあい」を大切に活動し、高齢化社会に向けて災害弱者支援活動を充実させ、高齢者が活力を持って、地域社会に貢献できる体制を作ります。

また健康で楽しい社会と多様な活動を通じて、高齢者相互のこころの「ふれあい」や安全・安心への地域見守り活動を強化させ、安心して暮らせる町会を目指していきます。

西六郷高畑町会
会長 須藤 宏
高畑文化まつり
子供映画会



地域活性化を図るために「高畑文化祭り」を高畑神社境内で毎年11月3日「文化の日」に開催、第11回目を迎えました。

所狭しと境内いっぱいフリーマーケット、各部のPRや他の団体の出店もにぎやかに、展示コーナーには絵や盆栽、役員の顔写真も貼り出し大盛況でした。毎年12月のクリスマスには、青少年部が「子供映画会」を開催しています。子供たちも大変楽しみにし、昨年は人気抜群の「崖の上のポニョ」でした。

今後とも学校、P.T.A、町会と一体となって子供たちと話し合いの場をつくり、住み良い町、安心して子供たちが元気で遊べる町にします。

今後とも色々な面で町会の活性化に向けて行きます。